

# 学校だより

## 《学校評価》特集号



令和8年3月24日

小野市立小野特別支援学校

令和7年度も、教職員・保護者によるアンケート、学校評議員等による関係者評価等を実施いたしました。そして、以下のように結果を分析し、まとめましたので、皆様にお知らせいたします。皆様からいただいた貴重なご意見は、令和8年度の学校経営や新たな教育実践等に生かしていきますので、なお一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

### ……☆令和7年度 学校評価に関するアンケート結果の分析……

回答数:教職員 31、保護者 41

<A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:できていない>

#### 1、学校運営に関すること

##### (1)教育的ニーズに応じた教育活動の推進 (人)

No.	設 問	A	B	C	D	無回答
教職員	個別の支援、指導計画をもとに個々に応じた教育活動が行われている。	19	12	0	0	0
保護者	学校では、個々の子どもの能力や障害に応じた教育活動が行われている。	36	5	0	0	0

・キャリア教育の視点を持ち、卒業後を9か年を見通した学校教育の構築に向け、情報整理と学部間の交流の取組を進めている。  
 ・チーム担任制の実施により、複数の職員が児童生徒の実態把握と情報共有を行い、教育の質の向上に努めている。今後も、職員間の連携を深めるとともに、各研修を通じて、教員自身の研鑽に励み、資質向上に努める。

##### (2)教育方針や教育活動等の啓発 (人)

No.	設 問	A	B	C	D	無回答
教職員	学校新聞やホームページ・学級通信等で情報発信、連絡帳等で情報共有を積極的に行っている。	26	5	0	0	0
保護者	学校は、学校新聞やホームページ、学級通信等で情報発信、連絡帳等で情報共有を積極的に行っている。	38	3	0	0	0

・学校通信で本校の進める教育方針を地域へ発信することができた。今後も継続し、教育活動の啓発に努める。  
 ・学校ホームページやスクリーンで行事等の情報を定期的に配信し、保護者との情報共有を行うと共に地域の人々へ情報を発信することができた。  
 ・連絡帳や学級通信で保護者に学校の様子を具体的に伝え、保護者と共に児童生徒の教育活動を推進することができた。

##### (3)安全安心への取り組み (人)

No.	設 問	A	B	C	D	無回答
教職員	安全点検を計画的に実施、安全管理、危機管理体制がとれている。	22	9	0	0	0
保護者	学校は、安全面、危機管理面におけるの管理と指導をしっかりと行っている。	36	4	0	1	0

・セーフティプロモーションスクール(SPS)認証を受け、危機管理体制の更なる強化を進めている。各種訓練の計画的な実施、学校安全に係る研修を通して、安心安全な学校づくりに努めている。今後もさらに、保護者・地域と協働・共創できるカリキュラムの構築を進める。  
 ・安全教育では、児童生徒と教員、学校運協議会委員の方と共に安全点検を実施している。危機管理意識の向上に向けて、「チーム学校」として主体的かつ組織的に取組を進めることができています。

##### (4)環境整備の取り組み (人)

No.	設 問	A	B	C	D	無回答
教職員	校舎内外の美化と環境整備に努めている。	12	19	0	0	0
保護者	学校は、校舎内外の美化や環境整備に努めている。	29	11	0	1	0

・校舎等の老朽化に伴う環境整備は、関係部局と連携し、計画的に改修を進め、組織的に対応している。  
 ・自然豊かな本校の特色を活かし、四季を感じることができる花の栽培、薩摩芋の収穫を行っている。さらに、継続して植栽活動を行い、児童生徒、教職員、来訪者の方々への環境提供を進める。  
 ・教職員の職員作業を定期的に行い、校舎内外の環境美化に努めている。

## 2、児童生徒の指導(学習・生活について)

### (1)子どもへの理解と関わり

(人)

No.	設 問	A	B	C	D	無回答
教職員	児童生徒が楽しく学校生活が送れるように、児童生徒理解に努めている。	28	3	0	0	0
保護者	学校の教職員は、熱意を持って子どもに関わろうと努めている。	39	2	0	0	0

・学部会、放課後ミーティングの時間を活用し、児童生徒の実態把握に基づいた情報共有を行うことに努めている。今後も、チーム担任制の導入をもとに、一人ひとりの支援体制の充実を図る。  
 ・学校行事や校外学習、集会活動等のねらいを持ち、児童生徒が主体的に学ぶことができている。今後は、個別支援の内容をもとに教科学習の充実を図る。  
 ・今後も関係機関との継続的な支援体制の充実につなげるために、医療、療育、放課後等デイサービスとの連携を定期的に行う。

### (2)子どもへの指導、保護者への対応

(人)

No.	設 問	A	B	C	D	無回答
教職員	児童や保護者の悩みや相談にきちんと対応し、児童生徒個々に応じた生活指導ができている。	20	11	0	0	0
保護者	学校は、子どもや保護者の悩みや相談に適切に対応している。	35	5	1	0	0

・学部会や放課後ミーティング等で教職員間による情報共有を行い、児童生徒や保護者の方に、より丁寧な対応に努めている。  
 ・9年間を通じた成長を感じられる指導体制の構築を目指すため、丁寧な引継ぎを行い、小中継続した支援を行う。  
 ・保護者への対応は、連絡帳や電話連絡、個別懇談を通して、きめ細やかな支援方法を共有することに努めている。

### (3)個に応じた教育活動

(人)

No.	設 問	A	B	C	D	無回答
教職員	個別の指導計画は、保護者との協議を踏まえて作成し、学習内容と達成度をわかりやすく書いている。	25	6	0	0	0
保護者	個別の指導計画は、保護者との協議を踏まえて作成され、学習内容と子どもの達成度がわかりやすく書かれている。	37	4	0	0	0

・小学部と中学部の学びの連携を進めることで、9年間を見通した系統的な学びから児童生徒の主体性を育む機会となっている。  
 ・生活単元学習など、児童生徒が主体となって行事を計画し実行することで、自らの意見を発信する力と相手の言葉を受け止める力が身についてきた。  
 ・買い物学習・販売学習・作業学習等の社会体験活動を通して、実生活に活用するための学習を行うことに取り組んでいる。

### (4)分かる授業

(人)

No.	設 問	A	B	C	D	無回答
教職員	指導方法の工夫や授業改善等に積極的に取り組み、授業力向上につながっている。	17	13	1	0	0
保護者	学校は、授業形態等を工夫し、分かって動ける授業づくりに取り組んでいる。	36	5	0	0	0

・「わかる授業」としてカリキュラムマネジメントを意識した教育課程を編成した。社会見学での電車等の乗車体験と国語や算数の教科学習と体験的な学習を意図的に整合させることで児童生徒にとって実生活に活かすなど、知識と体験の両方が充実した授業づくりを行っている。  
 ・児童生徒の実態に応じた授業を展開するために、R-PDCAサイクルに基づいた授業実践に取り組んだ。今後は、評価を検証し、「わかる授業」を推進するために、授業の改善に取り組む。

### (5)ICT教育の効果

(人)

No.	設 問	A	B	C	D	無回答
教職員	ICT機器(タブレットPC等)や教材教具の工夫を通して、学習内容の理解に役立っている。	17	13	1	0	0
保護者	学校は、子どもの意欲を引き出すように、ICT機器(タブレットPC等)や教材教具の工夫を通して、学習内容の理解に役立っている。	33	6	2	0	0

・ICT機器を活用し、発達段階に応じた計算や書取機能の学習アプリケーションを使用するなど、個別最適化の学びにつながる授業づくりに努めている。  
 ・ICT機器(タブレット)を活用し、目的に応じて、情報収集を主体的に行うことができるようになってきた。  
 ・スマートフォンやタブレット使用に依存することがないように、家庭と連携を行い、使い方やネットリテラシー教育に取り組む。

## (6)健康教育の推進

(人)

No.	設 問	A	B	C	D	無回答
教職員	児童生徒の健康管理や健康保持、体力向上に努めている。	25	6	0	0	0
保護者	学校は、子どもの健康管理・健康の保持増進や体力づくりに積極的に取り組んでいる。	37	4	0	0	0

・定期的に身体測定を実施し、児童生徒の発達や成長段階を考慮した上で、健康面や体力づくりの年間計画を立案した。サーキットトレーニングを実施することで、児童生徒の活動量が増加し、基礎体力の向上や感覚統合の促進に努めている。  
・発達段階に応じて、小学部と中学部が連携して、性教育を系統的かつ継続的に行うことを進める。

## (7)思いやりや助け合う心の育成

(人)

No.	設 問	A	B	C	D	無回答
教職員	教育活動全般を通じて人権教育に取り組み、自尊感情や道徳心をはぐくんでいる。	19	12	0	0	0
保護者	学校では、友だちとの関わりの中で思いやりや助け合う心を育てている。	32	7	2	0	0

・「ふれあいフェスティバル」のオペレッタでは、自尊感情や自己肯定感を高める活動として取り組んだ。本番までの練習の過程の中で、仲間との協調性を培い、表現力の向上に努めた。本番では、多くの観衆の中で、子どもたちに「自信」を持たせることができた。  
・エピソード記述の手法を用いることで、児童生徒の内面の実態把握に努めた。このことが、児童生徒の行動の裏にある心の動きを考え、実態に応じた支援を行う事につながり、児童生徒の思いやりや助け合う心の育成につながっている。

## 3、学校行事

## (1)学校行事の精選、効果

(人)

No.	設 問	A	B	C	D	無回答
教職員	学校行事は必要最小限に精選され、効果的に実施できている。	7	18	6	0	0
保護者	学校は、子どもの興味関心を踏まえた学校行事や学部行事を行っており、様々な体験ができるように工夫している。	38	3	0	0	0

・行事の成果として、目標達成までの過程を重視し、主体性を持ち、仲間と協力することを大切に取り組むことができた。一人ひとりが活躍できる機会を増やすために、計画段階から十分に話し合い、子どもたちがゆとりを持って活動ができるように留意している。このことが、児童生徒の「自信」に繋がり、行事を重ねる度に子どもたちの成長を感じることができた。

## (2)オープンスクール、参観日の実施

(人)

No.	設 問	A	B	C	D	無回答
教職員	参観日、オープンスクールの運営は、工夫して効果的に実施できている。	17	14	0	0	0
保護者	学校は、オープンスクールを工夫して効果的に実施している。	35	6	0	0	0

・一人ひとりの学びを、個性を引き出すことを念頭に置き、授業づくりに努めている。保護者の皆様にも、授業に参加していただく機会を設けることにより、子どもたちと共に成長を実感できる場となっている。子どもたちのいきいきとした表情を見ていただけるように、さらに、保護者の皆様が子どもたちの成長を実感できるオープンスクール、参観日の内容の充実を努める。

## 4、交流・連携について

## (1)交流教育の推進

(人)

No.	設 問	A	B	C	D	無回答
教職員	居住地校、近隣校との交流及共同学習が計画的に実施できている。	19	12	0	0	0
保護者	学校は、居住地校や近隣校との交流を可能な限り行っている。	35	6	0	0	0

・個別の支援・指導計画に沿って、交流担当を中心に、時期や回数、内容等、交流の機会を設定することで、徐々に交流範囲を広げていくことも可能である。児童生徒の発達段階等を考慮し計画的に交流教育を進める。  
・副籍制度のもと、児童生徒が豊かな人間性を育てていくことを目指し、児童生徒の目標を定め、同年代や異年齢の子どもとの交流を行うことができている。

## (2) 学校と家庭、地域及び関係機関との連携

(人)

No.	設 問	A	B	C	D	無回答
教職員	学校と家庭や地域・福祉・施設、関係機関と連携した教育活動が効果的に実施できている。	17	14	0	0	0
保護者	学校は、家庭や地域・関係機関と連携した教育活動を効果的に実施している。	32	9	0	0	0

・職場体験活動やトライやるウィークなどを通して、将来の仕事に就くことを意識した職場体験実習や保護者と共に福祉施設の見学など、地域での活動に参加できた。卒業後、児童生徒が、地域での活動で大きく貢献できることを願っている。

・放課後等デイサービス事業所と連絡帳の相互閲覧や、長期休業中等に放課後等デイサービス事業所を教員が巡回することで、事業所での児童生徒の様子を知ることができた。今後も、切れ目ない支援に向けて、学校・家庭・福祉事業所との連携に努める。

## ☆保護者からの意見☆

○先生方が本人に合った方法で支援してくださっているのが毎年できることが増えて感謝しかありません。こちらの悩みや要望にもすぐに対応してくださってありがとうございます。

○本人はこだわりが強く、自己主張も出てきてとても大変だと思いますがどんな時でも丁寧に対応してくださってありがとうございます。学校で覚えた言葉も家で出ることが増えました。たくさんの言葉が出てきて家族全員、喜んでいきます。



## ☆学校関係者からの意見☆

## 1、学校運営について 評価 A

○学校運営が大樹のように成長しているように感じます。根があり幹があり枝葉があるように多様な指導があればこそだと思います。

○安全面、人権、各学部の教育など組織でしっかり取り組まれていることを実感しました。

○学校運営の観点から見るとかなりポジティブな傾向が示されており、個別の支援、指導計画に基づく教育活動が学校全体で定着していると感じられます。

○積極的に現場、現物の視察の機会を設定するなど組織全体の底上げに取り組まれています。

## 2、児童生徒の指導について 評価 B

○チームを基本とした指導体制をもとに、子ども達一人ひとりに合わせた取り組みができています。

○性教育は、とても大切。小学校からカリキュラムを立て、個人に応じた学習を進めていくのが大事です。

○チーム担任制でこれほどの成果を見たこともない。チームでのカンファレンスがなされているためであろうと感じました。

○エピソード記述に基づいて、児童・生徒の内面を読み取り、細やかな指導をされている。1人の先生でなく、多くの先生で共有し多面的なとらえ方により、より正確に理解されています。

○本校の教育活動が一貫して室の高いものであり、生徒に寄り添った指導が日常的に行われており、学校と家庭との信頼関係が良好に保たれていることがうかがえます。

## 3、学校行事について 評価 A

○四季を感じていることが出来ることを含め、いろんな工夫、思いをもち実施されています。

○季節の行事は、家ではできないことを体験することは貴重だと思います。

○とても充実しているので、これからもよろしく願います。

○本校が教育課程に基づき、生徒の成長につながる行事を計画的かつ効果的に実施していることがうかがわれます。また、保護者との連携を大切にしている姿勢が信頼につながっていると考えられます。

## 4、交流・連携について 評価 A

○近隣校と交流をはじめ交流機会を多く持つことに加え、異年齢の子ども達が開わりを通し、成長できるよう努められています。

○大いに交流を進めてほしいです。

○河合小中との交流連携の深まりを知りました。地域に帰る子どもたちのためにさらにできる事から進めてほしいです。

○近隣の自衛隊との交流もあったとのこと。たくさんの身近な人と関われるのは素晴らしいです。

○本校が生徒の実態に応じた交流の機会を計画的に設け、教育的効果高い活動として実施していることがうかがわれます。また、学校を中心とした支援体制が確立され、生徒を多面的に支える環境が整っていると考えられます。